

事務所における環境保全の取り組み

2020年度環境保全

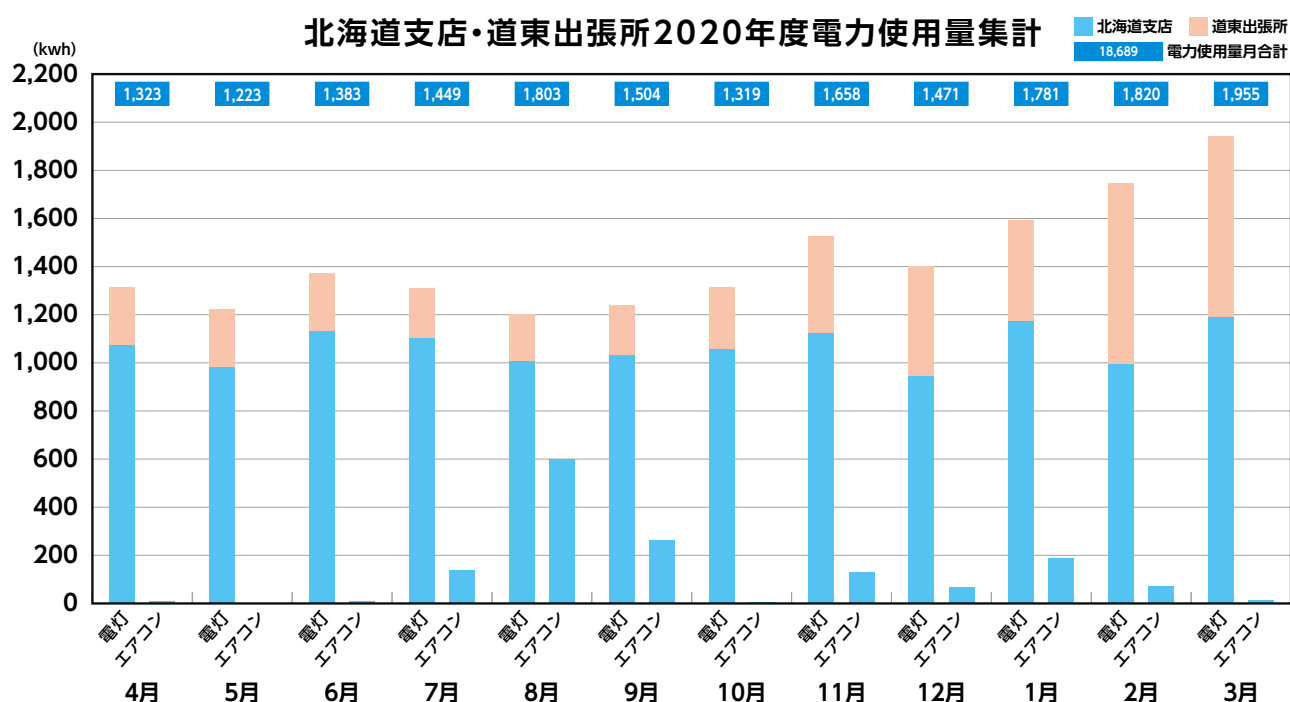
本社・支店・営業所は、各事務所管理会社の環境管理体制に応じた取り組みを行っています。

また、事務所の環境対応活動の事例を以下に紹介します。

● 北海道支店での取り組み

北海道支店では、コピー用紙にグリーン購入法適合商品を使用している他、昼休みの執務室照明の消灯を実施しています。

また、来客用コーヒーカップをプラスチック製から紙製へ変更し、海洋汚染の多くを占めるプラスチックごみ削減に努めています。



● クールビズの実施

2020年度もクールビズを行ないました。5月から10月末までをクールビズ期間としました。室内温度は28℃を目安に、働きやすい職場環境作りに気配りしています。

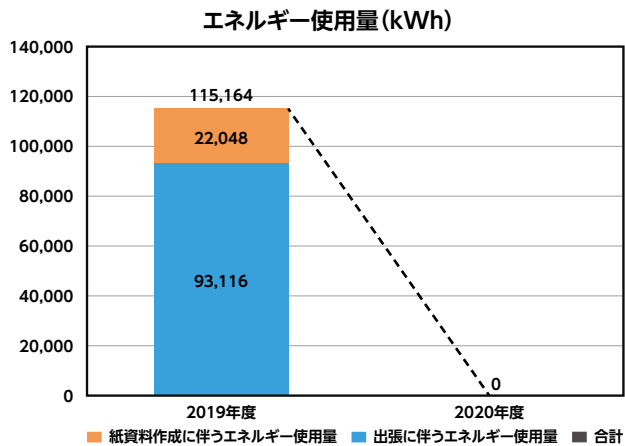
● 品質改革会議の完全WEB化によるエネルギー使用量削減の事例

2019年3月より、社会の情勢の変化によりICTの積極的な活用による業務内容の見直しが必要となりました。社内会議の効率化、紙資料の削減もその一つです。

業務内容見直しの結果、毎月開催の「品質改革会議」をWEB中継での開催に変更することにしました。本会議は慣例として、品質管理部門、設計部門、製造部門、調達部門、営業部門、アフターサービス部門の関係者約30人がIHI原動機本社に集結して開催されていましたが、2020年3月度開催時より、各事業所をWEB会

議システムで中継し、継続開催しています。同時に紙資料の配布を廃止し、パソコン画面上で資料を共有する運用に変更しました。

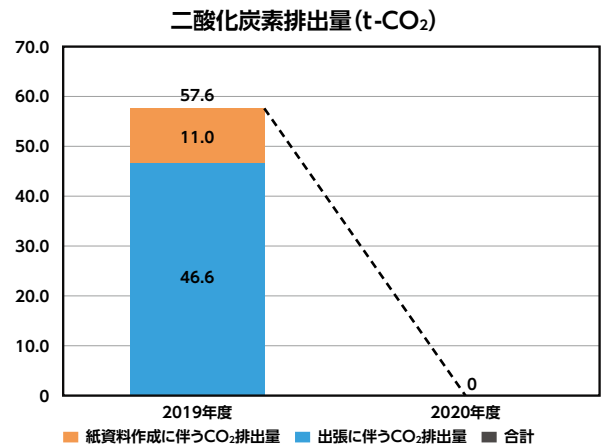
これらの変更により、2019年度は出張及び配布資料作成に伴い**115,164kWh(原油換算23.7kl)のエネルギー**を使用していましたが、2020年度はこれらの**エネルギー使用量は0kWhとなり、CO₂排出量は57.6t** CO₂の削減をすることができました。さらに、**年間約310万円の費用削減**にもつながりました。



エネルギー使用量(Kwh)

(交通費 ÷ 金額換算係数) + (紙資料作成費 ÷ 金額換算係数)

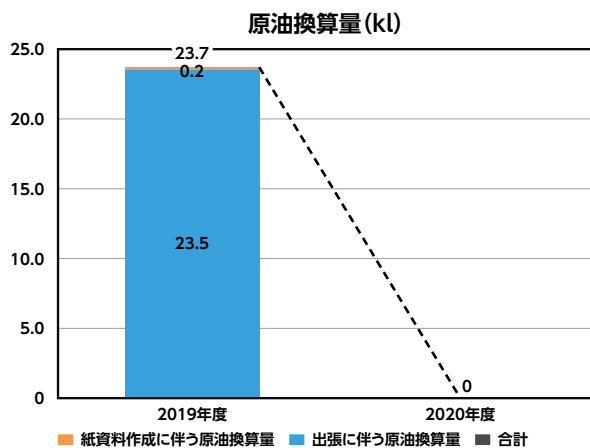
	2019年度	2020年度
出張に伴うエネルギー使用量	93,116	0
紙資料作成に伴うエネルギー使用量	22,048	0
合計	115,164	0



二酸化炭素排出量(t-CO₂)

エネルギー使用量 × CO₂ 排出係数

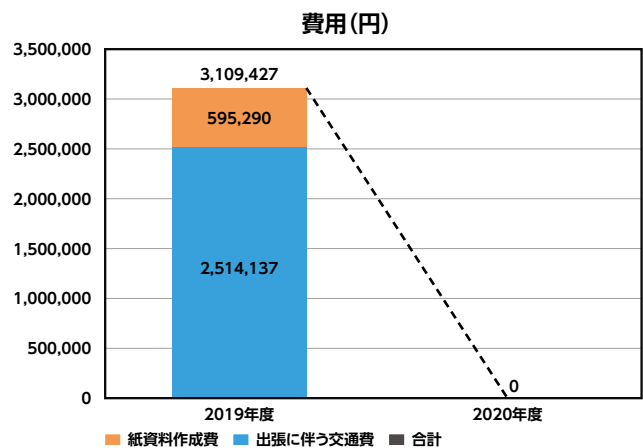
	2019年度	2020年度
出張に伴うCO ₂ 排出量	46.6	0
紙資料作成に伴うCO ₂ 排出量	11.0	0
合計	57.6	0



原油換算量(kl)

エネルギー使用量 × 原油換算係数

	2019年度	2020年度
出張に伴う原油換算量	23.5	0
紙資料作成に伴う原油換算量	0.2	0
合計	23.7	0



削減費用(円)

	2019年度	2020年度
出張に伴う交通費	2,514,137	0
紙資料作成費	595,290	0
合計	3,109,427	0

● **省エネ効果**

省エネ効果	2019年度	2020年度
エネルギー使用量(kWh)	115,164	0
原油換算(kl)	23.7	0
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	57.6	0
費用(円)	3,109,427	0
出張参加者(人)	212(188※ ²)	0

※1 省エネ効果の算出根拠

資源エネルギー庁公表の
家庭用省エネ性能カタログ2019年版182ページ
金額換算係数(電気)：27円/kWh
原油換算係数(電気)：0.252L/kWh
CO₂排出係数(電気)：0.500kgCO₂/kWh

※2 2019年4月～2月までの参加者数